



古典がたどる安倍晴明

陰陽五行説に基づき、天文異変や地相を占った陰陽師、安倍晴明。伝説上の幻術使いのように見えますが、実態はあくまで律令国家における技能官人です。当時を記録する『小右記』や『御堂関白記』では、花山天皇の除服の日時について勘申したり、藤原道長のために寺院建立に適する地を占ったり、晴明の仕事ぶりが分かります。一方で、晴明を一躍有名にしたのは、後世に創作された『今昔物語集』や『宇治拾遺物語』などにおける説話です。奇術幻術を使いこなすその姿に、人々は心を奪われてきました。日記文学の記録が「かたり」、説話文学の創作が「かたどる」晴明像をお楽しみください。

期間：令和5年10月12日（木）～11月7日（火） 会場：2階京都資料総合閲覧室 歴彩館本コーナー

＜陰陽師 安倍晴明とは＞

「道ノ傑出者」安倍晴明(『権記』)。

その生涯は延喜21年(921)から寛弘2年(1005)までですが、初めて文献上に現れるのは晴明40歳の天文得業生の時です(『中右記』)。師の賀茂保憲が40歳台で陰陽頭を務めていたことを考えると、ずいぶん遅い出世ではないでしょうか。

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
1	平安貴族社会と技能官人	高田義人著 同成社	2020	開架 210.36 Ta28 118022860
2	陰陽師安倍晴明	安城市歴史博物館編 安城市歴史博物館	2017	開架 289.1 A12-A 118002402
3	安倍晴明公伝：「今昔物語」より	水木しげる著 中央公論新社編 晴明神社	2009	開架 K1S 289.1 A12-M 110971288
4	平安貴族と陰陽師：安倍晴明の歴史民俗学	繁田信一著 吉川弘文館	2005	開架 148.4 Sh29 110940500
5	平安京のゴーストバスター：陰陽師安倍晴明	志村有弘著 角川書店	1995	開架 K1 148.4 Sh56 110567769
6	〈総特集〉安倍晴明：陰陽師・闇の支配者	河出書房新社	2000	書庫 K1 289.1 Ka92 110900647

＜小右記＞

藤原実資(957-1046)の日記。名称は、祖父実頼の小野宮を継ぎ、のちに右大臣になったことに由来します。別名、野府記とも。60歳から70歳台の晴明については、最も多くの記録が残ります。

正暦4年(993)2月3日、実資のもとを訪ねた晴明は、正五位上に昇進したことを報告しました。というのも、一条天皇の病を禊祓で治療したところ、その験があったとして褒賞の位を与えられたとのことでした。

No.	タイトル ※は晴明登場巻	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
7	小右記, 1 (尊経閣善本影印集成) ※1巻のみ	前田育徳会尊経閣文庫編 八木書店	2016	書庫 081.7 So42 56 110996577
8	小右記, 1 (大日本古記録) ※1～2巻	東京大学史料編纂所編纂 岩波書店	1959	書庫 210.088 D25-T5 10-1 110562328
9	小右記, 1 (史料大成) ※1巻のみ	内外書籍	1936	書庫 210.088 Sh89 1 10562792
10	小右記, 1 (史料通覧) ※1巻のみ	日本史籍保存会	1915	書庫 210.088 Sa75 1 110335500

＜権記＞

藤原行成(972-1027)の日記。名称は、権大納言を務めたことに由来します。別名、行成卿記とも。行成が蔵人頭になった995年以降、晴明が登場するようになります。

長保2年(1000)8月29日、行成の宿所を鼠がかじる怪異があり、晴明が吉凶を占ったところ口舌病に関する兆候でした。

No.	タイトル ※は晴明登場巻	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
11	権記 (史料纂集) ※1～3巻	渡辺直彦校訂 続群書類従完成会	1978	開架 210.088 Sh89 2-1 110562655
12	権記, 1 (史料大成) ※1～2巻	内外書籍	1939	開架 210.088 Sh89 35 110562736

≪御堂関白記≫

藤原道長(966-1028)の日記。道長が建立した法成寺(御堂)に由来して「御堂御記」と呼ばれていましたが、江戸時代以降『御堂関白記』の名称で知られるようになりました。清明晩年の記録が多く残ります。

寛弘2年(1005)2月10日、道長は東三条殿への引越に係る「新宅作法」を行うために清明を呼び寄せますが、清明は遅刻しました。清明はこの年85歳で亡くなったといわれ、最晩年まで陰陽師として活動していたことが分かります。

No.	タイトル ※は清明登場巻	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
13	御堂関白記全註釈 ※御堂御記抄(長徳元年)、長徳4年~寛弘2年	山中裕編 忠文閣出版	2010	開架 210.37 F68 1 110967506
14	御堂関白記, 上(大日本古記録) ※上巻のみ	東京大学史料編纂所編纂 岩波書店	1984	書庫 210.088 D25-T5 1-1 110562303
15	御堂関白記, 1(陽明叢書) ※1巻のみ	陽明文庫編 忠文閣出版	1983	開架 210.37 F68 1 110501591
16	御堂関白記: 上・下(日本古典全集)	日本古典全集刊行会	1926	書庫 S 081 N71 9 110260219
17	『御堂関白記』の研究	倉本一宏著 忠文閣出版	2018	開架 210.37 Ku53 118010360

≪今昔物語集≫

平安時代後期(12世紀)に成立した説話集。清明の死から約100年、『今昔物語集』では、卓越した呪力を持つ陰陽師として実態とは異なる「安倍清明」像が描かれました。

巻24第16話は、式神を使う術を披露するように言われた清明が、広沢の寛朝僧正の房で呪を唱えて蝦蟇を殺す話です。

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
18	今昔物語集, 上(丹鶴叢書)	臨川書店	1976	書庫 Y 081.5 012352 110649207
19	今昔物語集, 1(日本古典文学大系)	山田孝雄[ほか]校注 岩波書店	1975	書庫 Y 918 017701 110652707
20	今昔物語集, 本朝, 新訂増補(国史大系)	吉川弘文館	1941	開架 210.08 Ko53 17 110562419
21	今昔物語集, 上(日本古典全集)	日本古典全集刊行会	1932	書庫 S 081 N71 83 110260311

≪古事談≫

鎌倉時代初期(13世紀初め)に成立した説話集。編者は源頭兼。

頭痛に悩む花山天皇。清明の言に従い岩に挟まった前世の髑髏を取り出すと、たちまち頭痛は消えました。(巻6)

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
22	古事談/続古事談/江談抄	黒川真道編 国史研究会	1914	書庫 210.8 K053 11 110377693

≪宇治拾遺物語≫

鎌倉時代初期(13世紀初め)に成立した説話集。『今昔物語集』と共通する話も集録されています。

藤原道長が法成寺に赴いた際、引き留める犬を不思議に思い清明に尋ねると、地中に呪物があることが分かりました。(巻14)

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
23	宇治拾遺物語, 影印(陽明叢書)	忠文閣出版	1977	書庫 913.47 U57 110566375
24	宇治拾遺物語(日本古典文学大系)	渡辺綱也校注 西尾光一校注 岩波書店	1977	書庫 Y 918 017706 110652712
25	宇治拾遺物語, 古事談, 十訓抄, 新訂増補(国史大系)	吉川弘文館	1965	開架 210.08 Ko53 18 110562420
26	日本古典全集, 第39巻	正宗敦夫編纂校訂 日本古典全集刊行会	1927 -1928	書庫 S 081 N71 39 110260249

≪古今著聞集≫

鎌倉時代中期(13世紀半ば)に成立した説話集。編者は橘成季。

巻7術道第9は、陰陽師・僧正・医師・武士がそれぞれの職能によって災厄を防いだ話です。清明は陰陽師を代表する存在として登場し、物忌をする藤原道長のもとに届いた瓜の吉凶を占いました。

No.	タイトル	編著者 発行者	出版年	請求記号 資料ID
27	古今著聞集(日本古典文学大系)	永積安明校注 島田勇雄校注 岩波書店	1978	書庫 Y 918 017763 110652769
28	古今著聞集/愚管抄, 新訂増補(国史大系)	吉川弘文館	1964	開架 210.08 Ko53 19 110562421
29	古今著聞集: 上下(日本古典全集)	日本古典全集刊行会	1929 -1930	書庫 S 081 N71 57 110260275